

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パンダキッズ神戸児発		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育活動時間の十分な確保	1日を通して療育することで、基本的な生活習慣の向上と確立に力を入れている。また、様々な活動プログラムを取り入れ、利用者が経験を積む機会を多く作り、「できた」という自信へと繋げている。	プログラム内容を常に見直し、個々あった支援へと繋げている。
2	個別支援計画の質	個々に合わせたきめ細かい計画書を作成し、保護者に事業所の見学と計画書の説明を定期的に行っている。	モニタリング時に、よりきめ細やかな内容を検討することで、個別支援計画書の質の向上へと繋げる。
3	職員の専門性	経験豊富な職員による、療育プログラムや個別療育を実施している。	療育教材の見直しや、新たな療育への取り組みを行うために、研修への参加や他事業所の取り組み内容の共有を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部署間との連携が不足しており、業務の効率化が図れていない。	部署間の情報共有が不十分。	必要時に連携を図るだけでなく、部署間のミーティングを実施し、定期的に情報共有を行える場を設ける。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	パンダキッズ神戸児発				公表日	2025年 2月 25日		
					利用児童数	20		
						回収数 18		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		3	広い教室でした。 身体を動かすのに十分なスペースがある。	今後も、事業所内だけでなく近隣の公園での活動を積極的に行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			4	特に知らされていない。 少ないことはないと思う。	神戸市の基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		3	個人の棚が作られています。 部屋に入る部分に段差がなく、配慮されていると感じた。	今後も怪我へと繋がらないように安全面にも配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1		4	トイレが外なので冬場は少し寒いかもしれない。	教室の暖房で気温調整を心がけます。 定期清掃、消毒を続け、清潔な環境を提供できるように努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1		1	サーキット等 家と保育所、児発での様子が違うので本来の姿があまり出ていないと思う。 面談で特性に応じて対応をされていると感じた。	個別療育を実施し、個々に応じて専門的支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			3	合致している。	5領域に沿った支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16			2	面談が十分な時間を取られており、しっかり話ができた。	今後も保護者の方と課題整理を行い、よい計画書作成できるように努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			3	されており、十分な説明もあった。	今後も保護者の方と課題整理を行い、よい計画書作成できるように努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			3	苦手なことへの声かけなど、十分にできていると感じた。	職員間で新しい課題についても細かく周知徹底し、支援に繋がれるようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			3	色々としていることを聞く その都度課題が変わり、充分していると感じた。	個々の課題に沿ったプログラムの設定、季節を感じられる活動など今後も継続していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		3	9	話を聞いたことはない 活動の一環として経験はない	公園遊びでの交流や、ハロウィン行事の地域交流を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18				十分な説明があった。	契約時に、書類を保護者と一緒に確認し必ずすべての項目説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	2			とてもわかりやすい説明で助かりました。	保護者の方と、お子さんの見学と計画書の確認を必ず行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	12	余り事業所に行く機会がないので、たまに見学に行かれるとよい。 情報提供の機会はあるが、ペアレント・トレーニングはない。	保護者の方が必要とされる支援ができるように努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			ノートやメールを通じて、常にやりとりができています。	送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2			臨時でも電話対応などで悩みを聞いてもらえた。	定期的に面談や、お子さんの様子を見学して頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				されていると感じる。	保護者の方の想いに寄り添い、支援を行えるよう努めます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1	6	10	保護者同士の交流が機会があつてほしいと思います。 イベントは無いのでわからない。 保護者同士の交流は経験がない。	同じ保育園や幼稚園の保護者同士の交流はあるが、事業所としての交流の場はないため、交流の希望があれば検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		不安なことはその都度聞けて丁寧な説明と対応をしてもらえた。持ち物に対する管理が不十分な事があった。	契約時に、相談窓口の説明は行っている。また、随時相談は責任者が窓口となり行っています。事業所内で対処できる要望に関しては職員間で改善しております。事業所内では対処できない場合は事業所全体で対処しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			SMSの返信はすぐにいただける。	職員間で、必ずその都度情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	SNSの更新頻度がもう少し増えたら嬉しいです。通信、いつも楽しみにしています。	広報誌とインスタグラム、ホームページで必要な情報と、日々の活動内容の発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17		1	されていると感じる。	引き続き、個人情報の取り扱いは細心の注意を行い管理します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15		3	訓練実施は不明されている	保護者に対して、毎年4月に災害訓練時対応の手紙を配布し、実施に関しては広報誌で周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12		6	訓練実施は不明されている	毎年訓練計画通りに、訓練の実施を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		2	されていると感じる。	安全計画について周知し、職員間で定期的に計画マニュアルの確認を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		されていると感じる。	速やかに保護者に連絡を取り、説明と対応方法を伝えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1		園よりきめ細やかなので、安心して生活できていると思う。	保護者との信頼関係を築き、安心して通所して頂けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	1	週に2度ですが毎回楽しみにしています。パンダキッズに通う日を指折り数えて楽しみにしている。	様々なプログラムを準備し、子ども達の興味関心が広がるように取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2		送迎の際、笑顔で前向きな言葉をかけていただけるので嬉しいです。通所してからできる事が増えたり、子どもも楽しくすごせている。大満足です。これからもよろしく申し上げます。	保護者の方が必要と感じている支援、求めている支援が出来るように、日々取り組んでいます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	バンダキッズ神戸児発		公表日 2025年 2月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分な広さはあるが、庭がないため、近隣の公園での活動を積極的に行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		神戸市の基準を満たしています。	神戸市の基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		広いスペースであるため、棚等で空間を仕切り子どもに分かりやすい構造化に取り組んでいます。	二階までにはエレベーターがないため、安全面に十分な配慮が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃や消毒を継続し、清潔な環境を維持できるよう取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はないが、必要時はパーティションを使って部屋を区切っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		清掃や消毒を定期的実施し、清潔な環境を保つよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表を回覧するとともに、業務改善の内容についても情報共有を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見が寄せられた際には、その内容や改善策を職員間で共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は受けていませんが、必要性に応じて連携を図ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		2025年4月から社内で定期的に集まり研修を行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		全職員に公表内容、公表場所を周知しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		職員同士で各児童の発達状況を共有し、課題を整理することで、より効果的な計画書を作成するよう努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現場職員と一緒に発達状況と、今後の課題について話し合い、計画書の作成を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書が更新されるたびに、全職員で支援計画書を回覧し、課題や支援方法を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達段階を標準化されたツールで確認し、共通の認識を持つようになっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画書が更新されるたびに、全職員が支援計画書を確認し、課題や支援方法を共有しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々の成長に合わせたプログラムを複数の職員が検討し、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の課題に応じた活動や季節に合わせたプログラムを取り入れ、多様な療育を日々実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団療育、個別療育を時間帯で分けて行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動内容や支援目的を確認し、共通の認識を持った上で活動を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後に、一日を振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、個々の活動の様子を詳細に記録し、業務日誌等にまとめています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に状況を確認し、必要なサポートを提供し、課題を整理しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要時に行い、情報共有を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時に、連携を取れる体制は整っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		連携を取り、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学相談案内や、入学予定の小学校と必要時には情報共有を行っています。	
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		必要時には連携します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園利用時に、一緒に遊具を共有して遊ぶことがあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を使って、日々の様子や課題を伝え、共通理解を深めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		保護者の方が必要とされる支援ができるように努めます。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、書類を保護者と一緒に確認し必ずすべての項目説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画書の更新時には、保護者にお子さんの様子を見学していただき、家族の意向や子どもたちの発達状況を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		課題と支援内容を項目ごとに細かく説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		同じ保育園や幼稚園の保護者同士の交流はあるが、事業所としての交流の場はないため、交流の希望があれば検討します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談時には迅速に対応し、相談内容によっては面談や関係機関と連携を図っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		広報誌(毎月)とInstagram、ホームページで必要な情報と、日々の活動内容の発信を行っています。	Instagramは週1程度の更新頻度に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる場所に保管し、個人情報の取り扱いには細心の注意を行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ことばでの伝達が難しい子どもには、具体物を提示したり、環境を構造化したりして、伝達しやすい環境を整えています。	今後、学国籍の保護者が利用される際はツールなどが使えるように努めます。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィンのイベントでは、地域の施設を訪問し、交流を深めています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者に対して、毎年4月に災害訓練時対応の手紙を配布しています。	実施に関しては広報誌で周知するように努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎年訓練計画通りに、訓練の実施を行っています。また、必要な物や水の備蓄の確認を行い、補充しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に、保護者に細かく確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		主治医の記入した書類の保管も行き、薬の場所、対応について全職員に周知し、食事は個別に対応を徹底しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を周知し、職員同士で定期的に計画マニュアルを確認しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の連絡方法など、書面で配布を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には、詳細を職員間で共有し、今後の改善点について話し合っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員に、定期的に研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束事例はないが、全職員に、定期的に研修を行っています。		